

さいたま市立館岩少年自然の家 所報 第103号



「キクザキイチゲ」

たていわ

「さいたま市のヌウ」



令和8年度自然の教室(夏季)がスタートしました!

宮前小学校
活動中の様子

令和8年5月10日(日)、本年度の自然の教室(夏季)が開幕しました。新緑が目鮮やかな季節となり、爽やかな風が吹き抜ける中、今年度最初の利用校である宮前小学校の児童たちが元気に活動をスタートさせました。敷地内には、子どもたちのにぎやかな声と笑顔が広がっています。

自然の教室は、福島県南会津郡館岩地域の豊かな自然環境を舞台に、館岩少年自然の家を拠点として、「自然体験活動」や「集団宿泊活動」を行います。自然の教室での活動を通して児童生徒の自立心や協調性等をはぐくむとともに、心身の健やかな成長を支えることを目的としています。

今年度は、夏季期間(5月~10月末)にさいたま市立小学校105校および中学校1校が、また冬季期間(1月~3月中旬)には市立中学校57校が自然の家を訪れ、自然の教室を実施します。

館岩少年自然の家の職員一同、ならびに食事提供等を担当する株式会社ニッコトラストの職員一同が、安全で充実した活動となるよう努めてまいります。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



「館岩少年自然の家所員一同」



「株式会社ニッコトラスト職員一同」

令和7年度の「自然の教室」の様子から

館岩少年自然の教室では、四季折々の自然環境を生かし、小学生から中学生までの受け入れを行っています。夏季は全市立小学校と中学校1校を迎え、豊かな自然の中で仲間と協力しながら、前山登山や川魚さばき、焼き板等の活動することで、自ら考えて行動する力や協調性をはぐくんでいます。冬季には中学校を迎え、スキーや雪像づくり、雪上運動会等、雪国ならではの体験活動を行っています。児童生徒たちは2泊3日の生活を通して、友達や先生方と関わりによって、どんどん自信に満ちた表情へと変化していきます。仲間と励まし合いながら挑戦する姿や、協力して一つの作品を完成させる姿が多く見られ、達成感や充実感を味わう貴重な機会となっています。

このように、季節に応じたさまざまな体験を通して、子どもたちは心身ともに大きく成長していきます。今後も安全で充実した活動の提供に努め、子どもたちの豊かな学びを支えてまいります。

キャンプファイヤー



与野本町小学校

雪灯籠（点灯）



原山中学校

スキー活動



木崎中学校

南会津町立小・中学校との交流



さいたま市は、40年以上南会津町と友好都市として交流を続けており、自然の家では両地域の小・中学校による共同学習や、自然体験活動を通じた相互の交流を実施しています。令和7年度の自然の教室（夏季）では、馬宮西小学校、川通小学校、大久保小学校の3校が南会津町の小学校と、自然の教室（冬季）では尾間木中学校が、南会津町の中学校と交流をしました。豊かな自然の中で様々な自然体験活動を通して、生活環境等の違いを感じながらも、同じ体験を共有することで、子どもたちは自然と心を通わせ、お互いを理解し合う姿が見られました。

自然の教室での出会いと体験は、子どもたちにとって忘れられない思い出となり、これからの成長につながる大きな一歩となっています。今後もこの交流の輪を大切にはぐくんでいきたいと考えています。

《各学校の交流場面》

馬宮西小学校と館岩小学校
（事前オンライン紹介式）



川通小学校と
田島第二小学校、桧沢小学校
（野外炊飯）



大久保小学校と伊南小学校
（お別れ式）



尾間木中学校と館岩中学校
（スキー活動）



令和8年度は、南会津町立田島小学校、南会津町立館岩小学校、南会津町伊南小学校、南会津町立館岩中学校の4校と、自然の家や会津高原たかつえスキー場にて自然の教室での交流を実施します。

さいたま市から「体験の風をおこそう」運動とは、独立行政法人「国立青少年教育振興機構」の委託事業で、子どもたちに自然体験活動や生活体験など、豊かでリアルな体験活動を提供し、体験活動を推進する機運を高めることを目的としています。館岩少年自然の家では、7月25日（土）～27日（月）に「夏休み親子の集い in 南会津」、12月25日（金）～27日（日）に「白銀の会津高原・家族の集い in 南会津」を実施します。自然豊かな南会津の地において、様々な自然体験活動を通して感動を共有し、家族の絆を深め、参加者相互の交流を図ることを目的とした事業を展開していきます。以下は、昨日の様子です。

夏休み親子の集い in 南会津

前山登山



クラフト活動



魚さばき



間伐見学



飯盒炊飯・カレー作り



植樹体験



白銀の会津高原・家族の集い in 南会津

雪国体験活動



スキー・スノーボード活動



餅つき体験



赤べこ絵付け体験



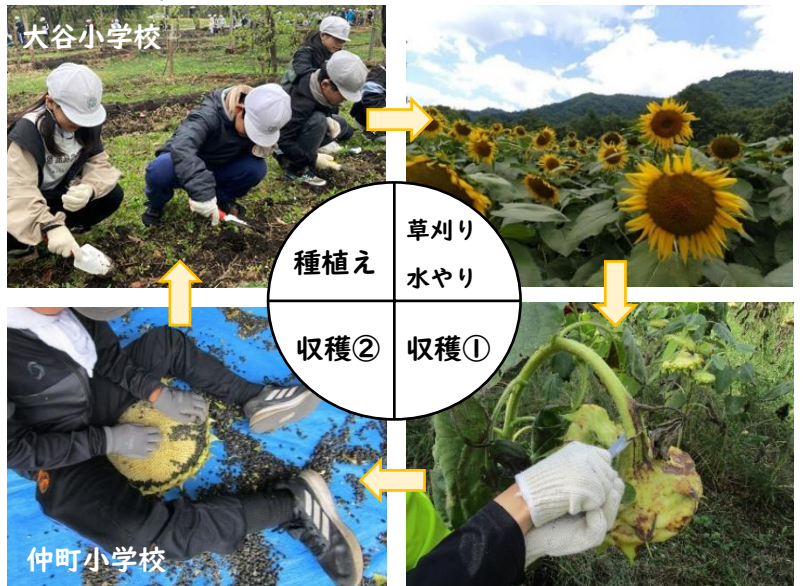
オレンジひまわりプロジェクト



東日本大震災により、福島県は原発事故による放射性物質の被害や福祉作業所の仕事減少に苦しみました。そこで2021年から大宮アルディージャ（当時）は「ひまわり」を復興のシンボルとしてオレンジひまわりプロジェクトを始めました。

このプロジェクトに、館岩少年自然の家は令和7年度から取り組んでおり、自然の家を訪れる子どもたちは、「種まき」、「水やり」、「種の収穫」等の活動を行います。体験を通して、震災を忘れないことや、ひまわりを植えると土壌の改善や病虫害の予防に繋がり畑の環境をよくする働きがある等、自然環境にも目を向けながら、活動を行っていきます。

▼活動の様子



自然の教室(夏季)に新プログラムができました!

🐦 バードコール

クラフト活動に「バードコール」という活動が加わりました。バードコールは木をこすって鳥の鳴き声に似た音を出す道具です。工程も小枝を切り、電動ドリルで穴をあけ、アイボルトをねじ込むだけで完成します。どの児童生徒も楽しく活動できるのがポイントです。



所長挨拶

自然と共に学び、成長する「自然の教室」

所長 伊澤 昌二



館岩少年自然の家は、開所以来45年を迎えます。

基本理念を「自然に触れ、自然に学び、自然で鍛える」とし、これまで多くの子どもたちが本施設を訪れ、自然体験活動や集団宿泊活動に取り組んできました。私たち所員は、ここ館岩を訪れた子どもたちだからこそはぐまれる「自然を大切に作る心」を、今後も大切に伝えていきたいと考えております。多くの感動的な体験を通して成長を実感できる「自然の教室」を、今年度も実施してまいります。

今年度は、「自然の教室」において、子どもたちのこれまでの学習や日常生活と結び付けた体験活動を、より一層展開してまいります。学んだことや身に付けたことを生かすことができるよう働き掛けるとともに、人との関わりを大切にし、仲間との関わりやすさやあたたかさを実感できる活動を重視していきたくと考えております。また、自然に直接触れ、観察し、考える場面を設定することで、改めて自然の素晴らしさや大切さを感じられるようにしていきます。館岩での経験を生かし、さいたま市に戻ってからも自然を大切に作る心をもった子どもたちをはぐくんでいきたいと考えております。

今年度も、「自然の教室」への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

所員紹介(令和8年度)

所長	伊澤 昌二								
管理係	★石田 壘	阿久津 正浩							
指導係	☆山下 貴路	佐藤 泉	大塚 慶	藤井 智之	鈴木 康弘	田中 雄真			
	古川 知亜美	渡部 裕貴	佐藤 淳	竹野 恵美	引地 弘幸				
会計年度任用職員	阿久津 初男	平野 睦夫	星 タマヨ						

★所長補佐兼管理係長 ☆主席指導主事兼指導係長
太字下線は、令和8年度就任所員

入所統計(令和8年3月現在)

○開所以来の使用人数

【実人数】 595,085人
【延人数】 1,927,730人

○令和7年度

【とくさ館利用】 7,391人
【からまつ館利用】 14,952人

さいたま市立館岩少年自然の家

〒967-0347 福島県南会津郡南会津町宮里字向山 2847-1

TEL 0241-78-2311 FAX 0241-78-2313

URL <https://tateiwa-sizen.saitama-city.ed.jp>

QRコードから館岩少年自然の家のHPに繋がります。▶

